

ウィキペディア

仲姫命

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

仲姫命（なかつひめのみこと、生没年不詳）は、応神天皇の皇后。『古事記』は**中日売命**に作る。品陀真若王（五百城入彦皇子の王子、景行天皇の孫王）の王女で、母は金田屋野姫命（建稲種命の女）。応神天皇との間に仁徳天皇を儲ける。**仲津姫命**とも。ちなみに同母姉の高城入姫命や同母妹の弟姫命も応神天皇の妃となっている。

応神天皇**2年2月3日**（**271年3月1日**）、応神天皇の皇后に立后された。仁徳天皇元年**1月3日**（**313年2月14日**）、仁徳天皇の**即位**と同日に**皇太后**となった。

目次

系譜

陵・霊廟・その他

脚注

関連項目

系譜

- 父：品陀真若王
- 母：金田屋野姫命
- 同母姉妹：高城入姫命・弟姫命
- 夫：応神天皇
 - 子：荒田皇女・仁徳天皇・根鳥皇子

陵・霊廟・その他

陵（みささぎ）は、宮内庁により大阪府藤井寺市沢田にある**仲津山陵**（なかつやまのみささぎ）に治定されている。宮内庁上の形式は**前方後円**。遺跡名は「仲ツ山古墳（仲津山古墳）」で、墳丘長約**290メートル**の**前方後円墳**である。

仲姫命



仲津姫神像（薬師寺蔵）

第15代天皇后

皇后	<u>応神天皇</u> 元年 2月3日
皇太后	<u>仁徳天皇</u> 元年 1月3日

陵所	<u>仲津山陵</u> （ <u>仲ツ山古墳</u> ）
諱	仲姫（なかつひめ）
氏族	皇族（ <u>景行天皇</u> 3世孫）
父親	<u>品陀真若王</u>
母親	<u>金田屋姫命</u>
配偶者	<u>応神天皇</u>
子女	<u>荒田皇女</u> <u>大鷦鷯尊</u> （ <u>仁徳天皇</u> ） <u>根鳥皇子</u>
身位	皇后→ <u>皇太后</u>
皇居	<u>軽島豊明宮</u>
異表記	<u>中日売命</u> （古事記）

応神天皇が八幡神として観想されると、その皇后である事から八幡三神中の比売神に充てられ、その神霊を祀る八幡宮も各地に鎮座する。

脚注

関連項目



仲姫命 仲津山陵
(大阪府藤井寺市)

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=仲姫命&oldid=72598349>」から取得

最終更新 2019年5月2日 (木) 07:16（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は[利用規約](#)を参照してください。